

第44回FM桐生番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成25年11月14日(木曜日)
- 2 開催場所 桐生ガスプラザ3階会議室
- 3 委員出席 8名
委員総数 8名
出席委員数 6名
出席委員の氏名 宝田恭之、片所寿雄、飯野マリエ、岡野紀子、中村昌也、豊田れい子
欠席委員の氏名 茂木理亨、星野尚香
放送事業者側 出席者名 塩崎泰雄、坂田道信
- 4 議 題「聴取番組について委員よりの意見と提案」
- 5 議事の概要
 - 1 開会
 - 2 挨拶
 - 5 資料配布物の確認 ・次第 ・次回試聴番組CD「無限大∞スマイループ」(パーソナリティー:藤生知子ほか)
 - 6 報告事項
 - a、エリア拡大の進捗状況について
 - b、10月からの新番組について
 - c、「緊急告知FMラジオ(防災ラジオ)」
 - d、事業について
 - e、パーソナリティー勉強会開催
 - f、特別番組の放送(桐生ファッションウィーク・えびす講)
 - 9 聴取番組 第4金曜21:00～「まじうれ」
 - 10 審議事項 聴取番組について委員より意見
 - 11 その他
 - 12 次回開催日程について 平成26年1月20日(月)
 - 13 終了
- 6 審議内容
 - a) 聴取番組について、委員よりの意見
第4週金曜21:00～「まじうれ」 パーソナリティー:アンカンミンカン(吉本興業、地元住みます芸人)
【委員】
 - 1 年代差を感じた。積極的には聴かない番組
 - 2 お笑いでも、わっと笑えない。これから成長していけることなのでしょう
 - 2 素直に言えば、勢いがある。自分の漫才をラジオでやっている、音声だけでお笑いを伝えるのは難しいと思うが、ともすれば楽屋ネタにいきそう。わたしはおもしろく聴いている。
 - 3 この番組が好きで聴いている。ツイッターとの連携が旨い。観覧もできる。
 - 6 「まじうれ」という番組名の割におもしろくない。つくりは打てば響くような構成だが、アンカンミンカンの瞬発力がお笑いのメディア出演の方に比べたらまだ地元の人だな、的などところがある。ネタをもっと考えてきて欲しい。もっと笑わせて欲しい
 - 7 全体としては安心して聴けた。初めて聴いたが楽しかった。
 - 8 予備知識なく聴いたが、そのうち地元の芸人と知って親近感をもった。
 - 12 「まじうれ」は「まじうれしい」だと思っていた
 - b) 委員より提案事項について
 - 16 番組内で「アイチューン」といっていたが、「アイチューンズ」である。
 - 17 最初はわざと自然な番組の導入を試みたらしいが、一定レベルのマナーが必要だと思った。専門チャンネルの場合ならいいが、あくまでも地域に根ざした放送である。
 - 18 しゃべっている側からすると、リスナーに頼ったしゃべりになってはいけない。

- 19 アンカンミンカンとわかってから、プロの人なのだからもっと頑張っ欲しい。
- 20 地元だからこそメディアに出ている人みたいに頑張っ欲しい。
- 21 観覧者、たくさんのスポンサーも応援している

7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

【委員】 桐生市議会番組「KJ」(毎月第一月曜 20時から 生放送)について、議会の反応はどうか

【FM桐生】大きな反応はないが、市役所の職員の中では好評。全国でも初めての試みで、時間をかけて用意しているのでこれからを期待して欲しい。

1時間の生なので打ち合わせがむずかしい。一回の放送に数回ほど打ち合わせをしているので慣れてはきている。市議が4人ほど出演しているので、話したい事が多すぎて苦慮している。

直接の反応はないが、雰囲気はいいものがある。

【委員】防災ラジオでリスナーが増えていると思うが、反応はあるのか

【FM桐生】局外で声をかけられる事が増えた。声でわかるらしい。ありがたいことである。

【委員】局員が風邪声の時が多かった気がする。

【FM桐生】少人数なので、代理がきかない。更に健康管理に勤めるようにしたい。

【委員】エリア拡大についての進捗は

【FM桐生】エリア拡大許可が降りました。12月中には試験放送が始まります。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 事務所への備置き、自社ホームページ<http://fmkiryu.jp/>掲載

公表の内容 この書類と同様

公表年月日 送付日と同日

9 その他参考事項

特になし

以上